

膳所市民ニュース

福祉の街づくりは われわれの手で

大津市では総合的な街づくり計画の指標として「ふるさと都市大津」を掲げ、古い伝統や文化など美しい自然に恵まれて、誰もが住みたくなり、住むことに誇りと喜びをもつような大津の街づくりを目指しています。

私達の住む地域社会も、快適で明るく住みよい社会でありたいと願うのは、すべての人々の共通の願いでしょう。

最近「福祉の街づくり」運動が広く展開されるようになり、膳所学区でも数年前から、社協や民協によって啓発運動が展開されてまいりましたが、望ましい福祉の街づくりに対する課題は増大する一方です。

課題は山積

先の厚生省の発表によると、日本は遂に世界一の長寿国になり、人生八〇年代を迎えたといえます。そのこと自体はまことに喜ばしいことですが、一面老人福祉に大きな課題を提供したとも考えられます。すべての高齢者に健康で恵まれた環境が保証されるなら、人生八〇年も万々歳です。しかし高齢者の中には病気に悩まされ、孤独をかこつ人や、身体的自由を失って、僅かに周囲の人々の温かい介護に希望をつなぐ人も多いのです。看取る人もなく亡くなった孤独の老人や、永年の介護に疲れ果てた家族や、婚期を失した娘さんの話等々。

高齢者の問題以外にもいろいろ

往々にして福祉といえは行政の仕事だと考え勝ちです。しかし制度や施設にも限界があり、すべてを行政に委ねることは不可能です。ここに発想の転換が必要になってまいります。「地域の福祉は地域住民の手で」という意識への転換です。

しかしこれには難しい問題点もあります。最近の急激な経済発展や都市化の中で、個人主義的物質中心の風潮、いわゆるマイホーム主義がはびこり、地域の連帯意識が稀薄となり、住民同志のふれ合いが乏しく、地域への愛着心や帰属意識が薄くなる傾向がみられることです。

みんなの手で

こうした風潮を克服しつつ住民自らの手で明るく住みよい街づくりを実現しようとすることは容易なことではありません。しかし人は余程のことがない限り、自分の生活に手一杯ということはないでしょう。もし近くに支えを求めている人があれば、早速手を貸そうとするでしょう。暇のある人は暇を、技能をもつ人は技能を役立てようとし、それとできない人は金を出そうとするかも知れません。

私の周辺にもひそやかなボランティア活動を続けている人々を幾人か知っています。隣人を愛し、地域を愛する心があれば、老若男女を問わず、その能力に応じて福祉の街づくりに参加することができずにはいられません。そのためにはこれら潜在的なボランティアを掘出し、これをつないで線に、線から面へとボランティア活動の輪を広げることが大切です。

地域ボランティア

また最近では各種団体による地域ボランティアとしての活動が大きく育ってきたことは

膳所市民ニュース

発行 昭和59年8月1日
編集 膳所市民ニュース編集委員会
(膳所公民館内)

大きな喜びです。街を流れる河川が美しくなり、公園も美しく整備されました。道路も良くなり、新しいスポーツの広場もできました。これらは何れも地域住民の自主的な活動や、行政と呼応した地域の人々の積極的な働きかけによるものが大きく、こうした地域ボランティアの今後の活動が期待されます。

社会的に弱い立場にある人々に対する個人あるいはグループによるきめ細かいボランティア活動や、広く地域全体を明るく住みよい街づくりを目指す地域ボランティアの積み重ねこそ、わが福祉の街づくりそのものといえるべきでしょう。「地域の福祉は地域住民の手で」をモットーに地域の盛り上りを期待したいものです。

7月1日(日)は「びわ湖の日」です。

びわ湖に美しさを取り戻そうと、全県的に一斉清掃作業が展開されました。

市では自治会連合会を中心に、「びわ湖を美しくする運動実践本部」をつくり、市民で盛り上げ取り組み運動として実施されました。

我が街膳所においても、相模川を美しくする会、膳所南部の川を美しくする会を中核に、各自自治会が分担に応じて各川の上流から川口までの堤防から川底までの清掃、除草をはじめ、地域の道路、排水溝などに出動、奉仕の汗を流した。

奉仕に参加した人員は約三、五〇〇人。収集した、空き缶、空き瓶、ビニールやプラスチックや金属製の廃棄物、ごみや草などは、不燃物が約30t、可燃物が約18tあり、地元で営業している土木建設業者の協力で配布されたダンブ・トラック8台により、延べ20回のピストン搬送で、焼却場や、捨場に運ばれ処理されました。先は上々。

参加出動された区民の皆さんや協力支援下さった業者の皆さんに心から感謝を捧げました。

「美しくする」のはこの日だけではありません。捨てない、汚さない、気がついたら清掃することを市民運動にまで高めたいものと思います。更に、お隣の晴嵐学区はちびっ子も参加したそうです。範としたいものです。

びわ湖を美しくする 一斉清掃の実施



生い茂った雑草刈りに奮闘中(池の内東)

昭和30年代から40年代にかけて全線開通した湖岸道路も増加の一途をたどる車の通量から、さしもの近代的道路も停滞、渋滞は避けられず、事故の発生への恐れや環境への悪影響の外、歩行者の通行、景観保全等の対策のため、近江大橋中工事を関連させて、湖岸道路の整備が進められています。その改善ポイントには

- 豊かな、緑ある広い歩道(環境整備)
- 両側に歩道(2.5m)設置
- 歩車道区別の植樹帯(2.0m)
- 地下ケーブル化し電柱を減らす。
- 明るい照明(交通安全)
- 道路照明設置
- 右折レーン
- 車道に中央分離帯設置。
- 車がスムーズに走れる道路(交通渋滞の緩和)
- 中央分離帯の設置
- バス停帯の設置

等です。発展協議会の近江大橋部会では、今後さらに公衆トイレの設置、湖岸道路から国道一号线さらに京都に抜けるための取り付道路等の諸問題を関係機関、地域などと調整を重ねながら、よりよい膳所の環境づくりをしていきたいと思っております。



木下町地下道南側の工事現場

「膳所総合発展協議会」会長に西田久次郎氏

膳所地域の総合発展推進のため、必要なる諸活動を行ない、豊かな住みよい生活環境を整え、当面する諸問題を解決するために

- ①近江大橋部会
- ②膳所城跡公園部会
- ③茶臼山公園部会
- ④生活環境部会の四つの専門部会を設け、活動を行なっています。本年度総会は七月十三日に開催され会長は西田久次郎、副会長は吉田隆・小林太郎、西田将一郎・庶務に野添弘蔵、監査に戸田耕吉・片岡初栄の各氏を選任した。

主張!

父母、教師を始め子育てにかかわる人々の間で、地域ぐるみで、という言葉がさかんにつかわれるようになってまいりました。

最近では、青少年問題が論じられるところでは、必ずと言ってよいほど大きな課題とされています。

この「地域ぐるみ」という言葉のなかに、子育てや教育が家庭と学校という両極の働きだけでなされることではない。ということと共に、青少年の問題はその青少年を生んだ社会そのものの問題である、という認識があります。

地域とは、家庭と学校の基

今なぜ地域ぐるみの子育てなのか

教育を創造するまちづくりをめざして

盤になる働きそのものであり、その両者の働きを結びつけて子育てを総合的な営みとし、さらに学校、家庭を本来化する働きをもっています。

今日、論議をよんでいる教育改革における諸問題も、つい

家庭、学校共に、単独の働きとしては本来の教育機能を果たすことはできません。

今、家庭や学校は、それぞれが本来の機能を果たすことが非常に困難な状況にあり、その大きな原因の一つが地域の

もその中で共同性、公共性を失ってきたのです。

具体的には、今日の地域社会のなかでの共同の仕事は、その大部分が住民の非主体的な自治意識のままに行政の仕事になったり、企業の商行為

をもちた本来の地域というものを再建してゆかなければならないと思えます。

そのために、父母・教師を含めた地域の教育集団づくりが火急の課題といえます。

本年度、これまで社会福祉協議会の裏組織としてその活動が消極的になりがちであった青少年育成学区民会議が、青少年を地域ぐるみで育てることを願うとして、能動的な組織に再編されることとなりその作業が始まりました。

青少年を育てるさまざまな活動が、学区民会議の中に結集され、高められ、青少年を育てる地域住民運動へと展開してゆくことが、今、切に願われていくことであります。

まるところ、学校や家庭の問題の投影とも見ることができまますし、人格の完成に重要な関わりをもつ家庭の教育もまた、マイホーム主義という言葉が示すように、非社会的、閉鎖的な側面をもつことから

教育力の喪失にあるといっても過言ではありません。

戦後の歴史の中で、大きな変貌をとげたものの一つに、地域社会の状況があります。

それは、都市化に伴う地域共同社会の喪失であり、子育て

となつたりしており、住民の主体的な参加による仕事は極めて少なくなってきています。

しかし、子育てこそは、地域住民の主体的参加による共同の仕事としてゆかなければならないものであり、教育力

スポットライト

ふるさとを愛する心を

郷土史家 竹内将人先生



竹内将人(まさひと)さんは、明治39年生まれ、膳所小・膳所中をでられた生粋の膳所っ子です。

や、瘦身だが、白髭をたたえられた風ぼうから古武士の風格を忍ばせる方。

竹内さんの青壮年代を知らない私は、次々と郷土史をまとめて出版されたり、立奏会の事務や各種顕彰、記念事業等に取り組んでおられる様子から、てっきり文科系御専攻と推察しておりました。

ところが、往時は旧海軍士官であり、技術畑とのこと。大正12年、江田島の海軍機関学校に入校。卒業後任官して、呉、横須賀、舞鶴等各鎮守府所属の戦艦、巡洋艦の機関将校を歴任、後、海軍大学や東京帝大(現東大)の理学部電気学科の留学を終えて、南、北アメリカ大陸各国及び東南アジア、ヨーロッパ各国方面へ遠洋航海し、士官候補生の教官として指導に当たられたり、呉海軍工廠にて造船設計(電気部門担当)を任じられる。

太平洋戦争末期から終戦後にかけては海軍省で艦船の改造を担当指揮されたり、舞鶴海軍工廠の戦後処理に当られる。更に厚生省に転じ、戦後復興の住宅建設計画の策定実施に携与された。

昭和23年春、帰郷されてからは、失業者救済のための施設を作り、木工、機械、電気関係の技術指導と製作、修理等を行っておられた。8年余

御住所は杉浦町17-20

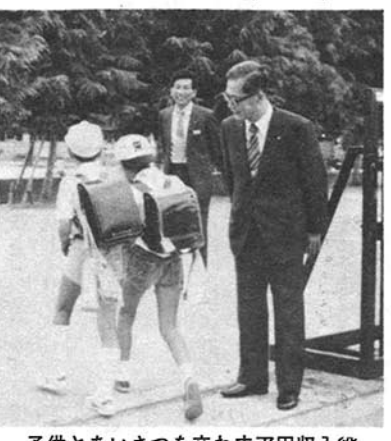
学区民会議

ようやく今年からひとり立ち

これまでも学区民会議の組織はあったが、その活動は学区社協の表裏団体として働いていたに過ぎず、地域ぐるみによる青少年の健全育成のための事業を時代の情勢変化にも対応して積極的に展開するため、本年度から完全独立した団体として再発足することになった。六月二十五日の社協の総会の席上、全員の承認を得ると共に、会長に小林太郎氏を推選、その他の役員・本年度の事業計画、予算等については、早急に、各団体より役員を推選して頂き、更に各町内青少年委員を交えて総会を開催、事業を遂行していただくことになった。

- (7) 青少年の地域活動の推進に努める。
(8) 有害図書、自販機撤去の署名運動の展開
(9) 立看板の掲示
(10) 立看板の掲示
(11) 青少年育成のつどい
(12) 青少年非行防止の取り組み
(13) 青少年育成関係機関や団体との連携に努める。

あいさつ運動の輪を広げよう!



子供とあいさつを交わす足田収入役

去る7月2日朝、社会を明るくする運動の幕あけを期して全学的にあいさつ運動がくりひろげられました。膳所学区でも、膳所小学校前に、市側から足田収入役を始め、小林青少年育成学区民



子供を出迎え「おはよう、おはよう。」

青少年非行防止のため地域ぐるみの運動を 私達のまわりにも青少年の非行は増加しています。彼等が非行化していく要因としては、俗悪な映画、出版物のはんらんが指摘されています。その外、子育てに関し放言や会話不足、しつけのまじさや指導の甘さ等々……、家庭の教育力の低下が問題とされています。

が委嘱を受け、膳所少年補導委員会を結成して、各自の分担を守り互に協調しつつ、補導に当たっておられます。次代を担う青少年の教育、指導は子を持つ親はもち論ですが、区民ひとりひとりが真剣に取組まねばならないものです。青少年のため環境浄化にとめるとともに、私達自身のためにも明るい住みよい町づくりにつとめたいものです。御理解と御協力を。

御参会を期待しています 第16回大津市同和教育研究会 大会、栗津、北大路ブロック 集会は、8月5日(日)9時から15時20分まで、膳所小学校で開催されます。

通学路の辻々にたち、学区のすみずみにまであいさつと笑顔の交流を広げました。このあいさつ運動は、社会を明るくする運動大津市実施委員会、青少年育成市民会議の提唱によるものですが、昨年から学校内運動として始ま

あわびと御訂正 前号(5・15発)2・3面に掲載のおめでどう赤ちゃんの2・8 山本真理子ちゃん は山本真理子さんの誤りでした。又、ご冥祈の、1・18 鬼頭治雄さんとありましたのは鬼頭キミ子さんの間違いでした。謹んでおわびを申し上げます。訂正させていただきます。

おめでどう赤ちゃん 赤ちゃん お父さん 続柄 住所

ご冥福をお祈りします 月・日 氏名 年令 住所

Table with columns for birth date, name, and address for 'おめでどう赤ちゃん'.

Table with columns for name, age, and address for 'ご冥福をお祈りします'.

Table with columns for name, age, and address for 'ご冥福をお祈りします'.

本ブロック集会所が盛會裡に終結し、同和教育の推進、部落差別の解消への一大ステップとなるよう、みなさん方の御参会と御期待を申し上げます。

文芸欄

やすらか短歌抄

公民館利用者団体の「やすらぎ短歌」(代表遠藤えい氏)からは地元膳所の方々の近況を、「京鹿子大津句会」(代

表北垣雅楽一氏)からは、六月六日の作句を御投稿いただきましたので、掲載御披露申し上げます。

照れば黄に曇れば墨にけぶりいて近江大橋黄砂の一日 伊勢野 一枝
小ひと月東京弁のアクセントの孫になじみて 井上 治子
味わう新茶 泰山木咲かん構えに揺れゆれつ真澄める空の満てる広さに 浜田 直子
たまさかに小言まじりて漸くに米寿の母の病癒えきぬ 林 阿左子
東雲の光さしくる湖に水尾引きてゆく鴨の一群 萩原 はつ子
気どらざるひと日の終り縁に出て木々の揺るるをあかずみたり 西沢 すえ
風鈴の音一つなき昼下がり隣家の唱うる拍子木つづく 渡辺 操
ひたひたと打寄す波に位置変わる渚の小石は小さきかげもつ 川辺 文
あらあらと崩されて行く山肌のかたえに藤の花のまさかり 河井 まさ江
一世を語る木斛の枯れし跡に二屯の石据え庭とのいぬ 金沢 祖明
ただ一日紅を匂わず離業の風にそよゆく花茎細き 竹内 次子
紫陽花の葉裏より出でて虫の生きいきと見ゆ雨こぼれ来て 谷元 良子
稚の花いのちのたぎちもくと夏をあかむ風鮮らしく 泰間 静子

町対抗インデアカ大会 大津町・警察官舎の両町内優勝!!

六月十日、膳所小体育館で本年度町対抗インデアカ大会が開催された。成績は次の通り (Aブロック)
一回戦 警察官舎2-1北下手 小姓2-0家中
二回戦 警察官舎2-0杉浦二区 小姓2-1下清水 杉浦二区2-1杉浦三区
三回戦 上清水2-1桜の馬場 警察官舎2-0小姓 上清水2-0杉浦二区
優勝戦 警察官舎2-1上清水 別保一-2-0石神 御殿浜-2-0北

第46回 学区民運動会 家中町初優勝!!

五月二十日、膳所小学校グラウンドで約四千名の参加者を得て、盛大に開催された。成績は次の通り
1位 家中町
2位 杉浦三区
3位 警察官舎
3位 不動寺町
5位 市営団地
6位 公園団地

膳所学区 体力づくり 推進協議会 総会開催される!

五月二十日、膳所公民館に於て本年度総会が開催された。会長に谷元末男、副会長に吉田隆・片岡初栄、理事長に金子良治、会計に高木良之助の各氏を選任し次の予算を承認した。

59年度予算書

Table with 2 columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Total income and expenditure are both 2,224,571.

学区社会福祉協議会 会長に 谷元氏再選!

六月二十五日、膳所公民館に於て社協総会が開催され、会長に谷元末男氏、副会長に野添弘藏・小林太郎・片岡初栄の三氏がそれぞれ再選された。

58年度会計収支決算書

Table showing 58 fiscal year accounting results. Total income: 2,295,615; Total expenditure: 2,295,615.

歳末助け合い運動チャリティーバザー会計

Table showing charity bazaar accounting results. Total income: 1,201,445; Total expenditure: 1,201,445.

みなさんありがとう! PTA一括資源回収
かつて、幼小中単位PTA毎に独自に行っていた資源回収を一昨年より、自治連合会長さんの呼びかけで、幼小中四校園PTAが一括しておこなうようになりました。
毎月、同じ日曜日(第二日曜日)にそれぞれ同じ地域に住む幼小中学校園の地域委員が力を合わせて、又地域によっては児童、生徒も汗をながしてその活動に参加しています。
地域の皆さまのご協力のおかげで、クラブ活動助成(粟津中)・カラーテレビ(膳所小)・ビデオ(膳所幼)・楽器(丸の内幼)など、教育設備の拡充にあてさせていただいております。
又、こういった一括資源回収の作業を通じて、地域における幼小中PTAの地域関係者のつながりが深まること地域教育力をたかめるため



▲子どもも参加しての回収作業

創設50周年を迎えるPTA

膳所幼稚園は、昭和10年5月1日に創設され、本年度50周年を迎えることになりました。一昨年(昭和57)より地域の方々及びPTA関係者から50周年記念行事を、という気

だくことを本当にうれしく光榮に思っております。
当園は、昭和10年5月1日に旧膳所小学校跡に創立され、今日に至っております。創立当時は一五〇名を上廻る園児に園長以下三人の先生方で貧しい施設のみで大変ご苦労をいただいたという苦節を思い出さなければならぬと思います。
近年、青少年の非行が低年齢化し、幼児教育が重視されてきました。人生最初の集団生活の場である幼稚園が本当に楽しいものであり、そのなかで子どもが伸び伸びと遊び、そして人の苦しみや悲しみのわかる子どもに育ってほしいと願っております。膳所幼稚園は、茶臼山や膳所公園、琵琶湖などの美しい自然と豊かな文化財に恵まれ幼児に感性をはぐくみ心を育てるのに絶好の所です。このような地域の環境を幼児の生活に生かし、充実した保育をしていきたいと思っております。
どの子ども無限に伸びるすばらしい芽をもっています。
膳所小学校体育館 グランドの申込み!!
膳所小体育館開放委員会
●開放日時
平日17時~21時
土曜13時~21時
日曜8時~21時
●毎月25日19時30分より膳所小体育館振替事務局で行われる調整会議に出席して申込みして下さい。(翌々月の1日から月末までを調整いたします)
●利用者は5人以上の団体で膳所住民で構成されたもの。
●ランドナイター利用の場合は一回五百円必要です。
●調整会議に出席されない場合はいかなる団体であっても利用できません。
●問合せ 高木良之助(079-794)
原稿提出締切りは11月15日。多数の御投稿をお願いします。